

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書②

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	<b>◇研修</b>	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	生徒の主体的で対話的な深い学びの実現を目指したアクティブ・ラーニングへの授業改善と、いじめや不登校に早期に対応し生徒の心の問題にきめ細かく向き合える職員の指導力の向上を目標に教育活動を進めている。生徒・保護者対象のアンケートでは、大半が学習指導や生徒指導に先生が熱心に取り組んでおり、生徒の安全・安心に配慮し、個に応じた指導がなされているという点で高い評価を得ている。一方で、授業における指導については、コロナ禍の影響もあり、十分に個に応じた指導ができなかった反省点がある。生徒の実態を的確にとらえ、学校全体の適切な指導体制づくりと職員一人一人の授業力の向上には改善の余地が見られる。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ICT機器を活用する授業改善と指導力の向上。 ◇いじめや不登校、発達障害等に関する生徒理解及び対応能力の向上。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企画委員会、生徒指導委員会、人権教育委員会、</li> <li>• 分掌会、教科会、学年会、ICT推進委員会、総合学習委員会</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 授業公開を積極的に実施し、教員による相互評価、管理職による授業参観と指導・助言、自己啓発面談を進める。 (2) いじめの早期発見と不登校への早期対応をスクールカウンセラーの活用を積極的にして指導の充実に努める。	(1) 生徒及び保護者アンケート、教員の相互評価、生徒対象の授業アンケート（満足度調査） (2) 生徒対象生活アンケート（迷惑調査）、i-check（生徒自己理解調査）、メールを活用した毎月の「心のアンケート」と年3回の「いじめのアンケート」	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年2回の授業公開週間を設定し、職員相互または管理職による授業参観、授業評価を実施し、授業改善を推進する。</li> <li>• 教科会を定期的に週1回開催できるようにして、教科の中での研修や共通理解を進める。</li> <li>• 生徒に関する教員間の情報共有を図るとともに、早期に適切に対応する体制づくりと職員の指導力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科を越えた授業参観及び相互評価を通して、授業力が向上できたか。</li> <li>② 教科内の検討によって授業力が向上したか。</li> <li>③ いじめ・不登校等に対する理解を深め、適切な対応ができたか。</li> </ul>	<p>A <input checked="" type="radio"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="radio"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="radio"/> B C D</p>
11 成果・課題	<p>(成果)</p> <p>○コロナ禍で協働作業が制限されたために、従来取り組んできたアクティブ・ラーニングの研究は進めることができなかったが、オンライン授業を展開するために、情報機器(プロジェクター・タブレット・ホワイトボード)を活用した授業研究を大いに進めることができた。</p> <p>○一人一人の職員がいじめや不登校についての感覚を敏感にして教育活動を進め、各種調査からも予兆を早期に発見し、スクールカウンセラーを積極的に活用し関係機関とも連携を密にして対応することができた。</p>	
		<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="radio"/> B C D</p>

	<p>(課題)</p> <p>▲今年度整備された、一人一台タブレットを有効活用するための準備を進めているが、時間的な制約のため十分な研修と授業改善に繋げるには至っていない。</p> <p>▲総合的な探究な時間は、解題解決学習を計画的にとり組んで2年目となり、調べ学習と資料作成は充実してきたが、プレゼン力は十分とは言えない。</p>	
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タブレットPCの有効的な活用方法 (Metamoji等) を研究して授業改善に取り組む。</li> <li>• 新学習指導要領に対応した指導と評価の確立を図る。</li> <li>• 総合的な探究の時間を充実させるために3年間の指導計画を全校共通で立案、実践する。</li> <li>• いじめの未然防止と早期発見・迅速な対応、不登校への早期対応ときめ細かい支援体制について職員間で共通理解を図り、情報を共有し速やかに問題解決できる職員体制を確立する。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月2日

### 【意見・要望・評価等】

- きめ細かく対応していると感じる。娘の周りでは、目につくようないじめはないようである。
- タブレットを活用した教育が実りを結ぶよう努力していると聞いて心強く感じた。
- コロナ禍の中で始まったオンライン授業は、大変であったと思う。授業参観ではタブレットやホワイトボードを使った授業を展開していた。先生方が素早く対応されたことに感謝しつつ、更なる活用を望む。
- 物事の流に乗り遅れると、何が分からないかが分からなくなる。大勢の生徒たちを一度に流れに乗せるのは難しいが、広い視野で見守ってほしい。PDCAのサイクルが重要である。
- ICTを利用し、国内交流、グローバル交流の場を多くした方がよい。
- タブレットに関わる授業改善は、中学校とも交流してもらえるとありがたい。
- 池田中学校でも全職員が年1回授業を公開しているが、普段は授業を参観し合うことが難しく、「授業公開週間」の取り組みを参考にしたい。ICT機器の活用は、学校教育の喫緊の課題であり、家庭での使用の在り方も含め、一人一台のタブレットの有効利用についてご教示いただきたい。
- 公開授業は先生方の授業に対する考え方が評価される場でもあり、今後の教育に繋がるととても大事なことなので、年2回の開催を増やす取り組みを検討してほしい。